

平成 27 年度 地域包括支援センター

魚崎北部あんしんすこやかセンター

事業報告書

「自主性と創造性を磨く、魅力ある職場づくり」

平成 27 年度は地域包括ケアシステム構築の為「地域ケア会議」を行い、本来のセンター業務に力を入れる事ができた。24 年度に地域診断を行い、その結果を元に、25 年度には効果的なネットワークの構築ができたので、26、27 年度は認知症サポートネット「お魚の会」で更なる地域との連携を図る事ができた。27 年度は「地域ケア会議」を防災福祉コミュニティとの合同会議を含め年 5 回開催する事ができた。地域包括ケアシステムができつつある。

センター内は「挨拶を徹底し、個人情報には注意しながら連携を図り、気持ちよく楽しく仕事ができるような職場にしていく」事ができた。

27 年度のセンターのモットーである「迅速に対応できる明るいセンター」として機能していく事ができた。

1. 高齢者への虐待防止、消費者被害防止、成年後見制度の活用等の権利擁護支援

○高齢者への虐待防止

虐待の事実確認をセンターで実施し、コアメンバー会議を 8 ケース（内 1 ケースは他のあんしんすこやかセンターからの引き継ぎ）開催。

- ① 70 代男性。息子からの経済的虐待の疑い・・・コアメンバー会議では虐待の事実確認できず、ケース検討会議では終結となる。

本人はサービス付高齢者住宅に入居している。息子に自宅を追い出されたという思いが強く、自分の家に入れてもらえない、勝手にリフォームされたり、家具等を処分されている、生活費が足りない等の不満が募っている。本人からの聞き取り、主治医への相談、担当ケアマネ、サ高住の責任者、訪問介護の担当者、息子さんを交えて担当者会議を開催する等、関係機関への情報提供、情報の共有を行なった。パニック障害や不定愁訴への対応については主治医と連携をとり、継続的・総合的支援を行なっていくことになった。

- ② 70 代女性。息子からの経済的、身体的、心理的虐待の疑い・・・コアメンバー会議では虐待の事実ありの判断（身体的・心理的虐待）で継続支援中。

持家（マンション）に息子と二人暮らし。本人の年金を息子が管理し、本人に所持金がほとんどない状態。息子はお酒の勢いで、本人に暴言を吐き、胸ぐらをつかんだり、ドアを激しく閉めたりする。マンションを売却して息子と離れて暮らしたいという本人の希望があるため、生活保護に相談に行った。息子さんの意向を確認しながら今後の方向性を検討していく。

→本人、息子さん、区、センターとカンファレンスを開き、息子さんの意向を確認し、マンション売却を前提とし、本人は養護老人ホームの入所検討。マンションの売買契約が成立したため、養護老人ホーム入所の運びとなる。

- ③ 80代男性。妻からの身体的虐待の疑い・・・コアメンバー会議で虐待の事実ありの判断（身体的・心理的虐待）で継続支援中。

本人の認知症の進行により、失禁が増え、動作も緩慢になり、介護者である妻が夫を叩いてしまったケース。妻の判断で2年の間に市内を5回引っ越した。引っ越しの度に経済的、身体的、精神的に負担が大きく妻はパニックに陥る。次男家族、担当ケアマネ、あんしんすこやかセンターの職員とカンファレンスを開き、家族歴や病歴などの情報を共有し、課題を明確にし、後日、家族と精神科の医師をたずね、今後の方向性について相談した。パーソナリティを変えるのは無理であり、今後は外堀を埋めていく以外に方法はないとコメントされた。介護保険のサービスを使い、医療と連携しながらフォローしている。ショートステイの利用などで妻の介護負担を軽減することを検討するが妻の拒否でなかなか利用につながらない状況。関係機関、家族との連絡を密にとりあっている。

- ④ 70代女性。夫からの心理的虐待の疑い・・・コアメンバー会議では虐待判断できず、困難ケースとして今後は支援継続していくことになった。

夫婦と息子との3人暮らし。夫に、結婚相手がいるのだらうと迫られ、恐怖で長女宅に避難した。夫は精神科を受診し、感情のコントロール機能に障害があると言われ気分を落ち着かせる内服薬を処方された。家族と連絡を取り、医師からの情報を共有し、介護保険のサービス事業所とも情報を共有し、フォロー継続中。

- ⑤ 80代女性。夫からの身体的虐待の疑い・・・コアメンバー会議で虐待疑いと判断され、養護者支援の視点に立ち、特養入所に向けて支援する。結果、特養入所となった。

- ⑥ 80代、90代の夫婦。息子からの心理的虐待。コアメンバー会議で虐待の事実ありの判断（身体的・心理的虐待）で継続支援中。担当ケアマネと連携し、対応している。

- ⑦ 80代女性。夫からの身体的、心理的虐待。コアメンバー会議で虐待の事実ありの判断（身体的・心理的虐待）。妻が入院。本人、家族が分離を希望したため、行政、家族、医療と連携を取り、退院後そのまま養護老人ホームに入所することができた。

- ⑧ 80代女性。長女夫婦からの身体的、心理的虐待。コアメンバー会議で虐待疑いと判

断されたため、関係機関と連携をとりながら支援継続中。

○成年後見制度の活用等

- ① 70代男性 賃貸アパートに一人暮らし。ADLが自立であり、短期記憶障害が顕著であるにも関わらず、支援の必要性を自覚していない。すぐに年金を使い果たしてしまい金銭管理ができず、食べものにも困る生活の繰り返し。医師、薬剤師、民生委員、サービス事業所の方々の出席のもと地域ケア会議でも個別事例として検討する。神戸市社会福祉協議会こうべ安心サポートセンターの福祉サービス利用援助事業（りんりんネット）に申込みをしたが利用にいたらなかった。その後行政と相談し、市長申し立ての準備を始めたが、有料老人ホームに入所が決まり支援終了となる。
- ② 80代女性 すでに後見人がついている。後見開始後、通帳を預けることに納得できなくて後見の取り下げ、もしくは後見人の変更の訴えが頻繁であったが、後見人とセンター職員が訪問を重ねるうちに、後見人との関係が修復されつつある。継続支援中。
- ③ 80代女性 子供がいない。血族の甥は遠方に住んでいて、直接的な世話はできない状況。姻族の姪が施設入所の手続きをし、通帳管理をしているため、成年後見制度のパンフレットを渡して説明し、後見制度の利用の方向へ話を進めている。
- ④ 70代女性 結婚歴がなく兄弟もみな亡くなり一人暮らし。甥と姪がいる。認知症が進行している。姪は成年後見の利用を希望されているので、甥にパンフレットを郵送。利用につながるように支援する。
- ⑤ 80代女性。結婚歴がなく持家に一人暮らし。認知症はないが、今後のことを検討したいとの相談を受け、2度訪問。成年後見のパンフレットを見ながら説明。
- ⑥ 80代女性。子供がなく持ち家に一人暮らし。体調崩し緊急搬送され、退院後はケアハウスに入所したが、金銭管理をする親族が姻族の姪になり、今後の相談を受ける。後見制度の説明をし、希望されたので司法書士を紹介したが、結局知り合いの弁護士を通じて遺言書を作成された。

成年後見制度のパンフレットを地域行事等で配布。

○消費者被害

- ① 70代女性 浄水器を高額で買い、消費者センターに本人が連絡。半額が戻ったが、その場に同席してほしいと言われ同席した。消費者センターに問い合わせをしたが、本人以外には詳細は教えられないということだったので詳細は不明。

消費者被害の内容の配布物を地域行事等で配布。

2. 認知症サポートネット「お魚の会」の更なる推進（委託料 65,000 円あり）

平成 27 年度お魚の会に向けて、実行委員会を 4 月 15 日開催。実行委員 6 名とあんすこ 4 名参加。今年度、あんすこ職員 2 名交代があり、実行委員に新任の挨拶と連携依頼。今年度の方針について検討。まずは、基礎的な事をして、徐々に具体的な事を発信できたらとの意見あり。今年度は、5 月 10 月 2 月の 3 回開催予定となる。

第 1 回目お魚の会は、5 月 20 日（水）横屋会館で 13 時半から 15 時、認定 NPO 法人認知症予防ネット神戸の伊藤米美看護師による講演を実施。一般 10 名、実行委員 9 名、区役所 2 名、あんすこ 3 名の合計 24 名参加。実行委員会から開催までの期間が短く、広報が不十分だったのか、一般参加者が 10 名と少なかった。笑いを取り入れながらの講演で、質疑応答時、ご自身の体験談や認知症家族の方の悲痛な心境も聞かれた。

8 月 21 日第 1 回目の反省と第 2 回目のお魚の会に向けての実行委員会を開催。

1 回目参加者が少なかった事もあり、広報場所を検討し、川井公園で毎朝 6 時半からのラジオ体操に 100 人前後來られている方に広報してはどうかと意見あり、10 月 7 日 6 時から実行委員 2 名と手伝い 1 名とあんすこ 2 名で 93 枚配布。

第 1 回目の内容が、専門者向けの内容もあり、一般の方には難しい所もあったのではないかと言う意見あり、2 回目は、一般の方に分かりやすく楽しい企画にしようと認知症予防啓発劇とぼけ小唄体操となった。

2 回目お魚の会は、10 月 21 日（水）横屋会館で 13 時半から 15 時、一般 28 名、実行委員 4 名、あんすこ 3 名の合計 35 名参加。一般 28 名の内、ラジオ体操で配布したチラシを見て参加された方は 10 名で、広報の約 1 割の方が来られた。新しい広報場所の発掘の意義を感じた。

内容は「兵庫生きがい劇団はっぴーず」による認知症予防啓発劇「ぼけたらあかん」とぼけ小唄や懐かしい歌に合わせた手遊び体操を実施した。

笑える楽しい劇だったが、劇中の医師が認知症家族に呆けない為の対応を指導した時、その内容を書き留める人が多数おられた。また、ぼけ小唄やいろいろな懐かしい曲に合わせて、みなさんが歌いながら手遊び体操をされ、楽しかったとの意見が多く聞かれた。

そして劇団員が、同年齢の方がされている事にも関心が集まった。

第 3 回目は、平成 28 年 2 月 17 日（水）横屋会館で開催。一般 32 名、実行委員 4 名、あんすこ 4 名の合計 40 名が参加。ご主人が 60 歳で若年性アルツハイマーになられ、14 年間介護されている家族の体験談や介護関係者や地域の方々の支えで、前向きになれ地域で過ごしている事をいきいきと講演された。当事者の気持ちが分かり、認知症になっても地域で暮らせる町作りの重要性を学べた。

介護予防普及啓発事業の推進（神戸市より委託料 80 万円あり）

平成 27 年度は、西青木総合会館で年 4 回開催予定。

第 1 回目は 7 月 21 日（水）「あんすこセンターとは」あんすこ 4 職種で講演と NPO 法人ふ

れあい2名による介護予防体操を実施。14名参加。

第2回目は9月16日（水）杉本佳代子管理栄養士による「いきいき長寿の食生活」講演。
チャレサポ ゴーゴー4名による脳活性化体操を実施。21名参加。

第3回目は11月18日神鋼記念病院の感染管理認定看護師による「感染症の予防と対応方法」の講演と実演。チャレサポ ゆりかご3名による介護予防体操実施。29名参加。

第4回目は平成28年1月20日（水）行政書士による「自分の計画書、老い支度」講演と介護予防体操実施。28名参加。

3. 地域包括ケアシステム構築の為、地域ケア会議の推進。（神戸市から12,000円委託料あり。）

27年度は「地域ケア会議」を防災福祉コミュニティとの合同会議を含め年5回開催する事ができた。地域包括ケアシステムができつつある。

4月23日 第1回目 個別事例、グループワーク、ネットワークのお知らせ。

7月22日 第2回目 個別事例、フリートーク。地域課題抽出

9月25日 第3回目 防災福祉コミュニティの取組みから地域課題検討

10月29日 第4回目 個別事例（精神障害）

3月2日 第5回目 個別事例（独居・認知症）地域課題

・地域別連絡会（ケアマネ支援）

ケアマネ支援の為の連絡会等、ほぼ毎月テーマを変えて開催できた。地域包括ケアシステム構築に向けて27年度の目標であるセンター間の連携と地域内居宅事業所ケアマネの勉強会によるレベルアップ等を図って、地域に貢献していけるようにする為である。東灘あんしんすこやかセンター合同にてケアマネ支援の立場から研修会を行う事ができた。

・区主催 東灘区あんしんすこやかセンター連絡会 月1回（第2月曜日）

・ケアマネ支援研修

5月26日 介護保険制度改正勉強会（神戸市介護保険課 上田課長をお招きして）

6月17日 介護保険サービス事業者情報交換会

7月14日 医療と介護の連携について 東灘区医師会及び病院MSWとの情報交換会

10月8日 口腔ケア及び嚥下障害に関する学習会

12月7日 感染症について学びましょう

2月24日 支援困難事例検討会

4. 単身高齢者・老々世帯の孤立化を防ぎ、地域に出かけていけるように。地域見守り活動推進事業の推進

- ・見守り訪問は、訪問・電話・地域行事等での確認を平均して月100名位行った。状態が悪くなり申請してサービスに繋がった方、介護の相談・日常生活の心配事・地域の行事などの相談が多くあった。又、お金の管理ができない方・サービスに繋がらなかった方も増え、実態把握で手助けすることが増えた。

ほのぼのダイヤル・ガス見守り・友愛・民生様の見守り等も活用した。

推進員の暫定訪問対象世帯数は10名となった。

- ・住所地ごとの単位見守りの強化を図り、民生・区社協・地域包括と連携を取り情報提供を行った。(単身・高齢者世帯見守り台帳の活用を行い、更新して民生・区社協と情報の共有を図った。)
- ・ITガス見守りを行っている。土日は交代で携帯電話を持ち帰り、使用の確認を行っている。体調が悪く、ガスの利用がなかった方もあり、見守りのツールの一つとして役立っている。3名から現在は2名のガスの見守りを継続中。
- ・「地域見守り活動推進事業」の一環として、神戸市が行う「事業者による高齢者見守り事業」に関する普及・啓発への協力と連携を行った。※協力事業者
(第5期協力事業者) (株) 三井住友銀行・布亀株式会社・播州信用銀行
(第6期協力事業所) 神戸市水道局・大京アステージ・淡路信用金庫・(株) ジェイコムウエスト神戸芦屋局・神戸三木局・(株) みなと銀行・積和管理関西 (株) の協力が加わった。
- ・神戸市の市民病院群から退院される対象者に対する安否確認体制の構築に、協力し対象者の実態把握に努めて情報提供を行った。
- ・地域で地域行事のチラシを配布し(月平均1,000枚位)参加を呼び掛けて、仲間づくりや住民通しの見守り活動に繋がるように働きかけた。

東灘区全体で行うウォーキングもその一環で、懇親会9月60名、10月西国街道55名、12月保久良山40名、H28年1月三社参り30名、2月交流会30名参加。

地域包括の行事

- ・コミュニティサポートグループ育成支援事業は3件実施。(介護予防普及啓発の一貫として、地域の方々と一緒になって、生きがいづくり、閉じこもり予防をしている)
(区社協より助成金がH27年度は55,000円あった。(新規立ち上げ分1件含む。)
H27年度の決算後に体操の追加助成金が17,500円となった。)
- ① 「らくらく体操」は7年目に入り、先生の交代等があった。(毎月の第2水曜日で8月は休みとし年11回開催) H28年度は(株) ビケンテクノへ移行となる。
- ② 「うぐいす映画会」は5年目に入り、引き続き開催した。(奇数月の第2金曜日で5月・9月・11月・3月の年5回開催) H28年度は助成金打ち切りで終了となる。

- ③ 新規で「リバーサロン」を立ち上げた。(偶数月第2火曜日 第1回は7月実施。10月・12月・2月開催) H28年度は引き続き行う。
- ④ 「ふれあい喫茶カフェ魚崎」は当法人が行うが、引き続き地域の皆様に楽しんで頂けるように、開催をあんしんすこやかセンターが行った。(月の最終土曜日で8月・12月は休みで年10回開催) H28年度は奇数月開催となる。
- ・前年度立ち上げた3件は、「おおぎ映画会」は名称変更で「西青木映画会」となり、「すみれサロン」、「おさなサロン」は名称変更で「ぼっぼくらぶ」となり、自主運営となった。引き続き多くの方の参加がある。

<参加人数>

① らくらく体操 (横屋会館1階)

開催月	参加者	ボランティア	開催月	参加者	ボランティア
4月	21名	7名	10月	28名	7名
5月	19名	5名	11月	23名	6名
6月	25名	8名	12月	20名	9名
7月	23名	8名	1月	22名	5名
8月	なし	なし	2月	19名	7名
9月	15名	6名	3月	20名	10名
			合計	235名	78名

(参加者 前年比 104 %)

② うぐいす映画会 (新住吉川住宅集会場3階)

H27年5月「ひばり・チエミの弥次喜多道中」	参加者12名・ボランティア5名
H27年5月 ミーティング・茶話会	参加者11名 (ボランティア含む)
H27年9月「人生の特等席」	参加者11名・ボランティア3名
H27年11月「不思議な岬の物語」	参加者20名・ボランティア2名
H28年1月「花ざくろ」	参加者19名・ボランティア2名
H28年3月「嵐が丘」	参加者15名・ボランティア2名

③ リバサロン (新住吉川住宅集会場3階)

H27年6月ミーティング	参加者 (ボランティア) 8名
H27年7月「脳トレ体操」	参加者16名・ボランティア8名
H27年10月「女性落語寄席」	参加者19名・ボランティア6名
H27年12月「演奏会」	参加者17名・ボランティア7名
H28年2月「脳トレ体操」	参加者11名・ボランティア6名
H28年2月ミーティング	参加者11名・ボランティア5名

④ 法人事業として、「ふれあい喫茶カフェ魚崎」をケアハウスの4階で引き続き行った。

開催月	参加者	ボランティア	開催月	参加者	ボランティア
4 月	3 4 名	9 名	10 月	2 7 名	8 名
5 月	2 7 名	1 3 名	11 月	2 7 名	1 4 名
6 月	3 1 名	1 2 名	1 月	2 7 名	1 2 名
7 月	2 0 名	1 0 名	2 月	2 5 名	1 2 名
9 月	3 0 名	1 6 名	3 月	2 3 名	2 0 名
			合計	2 7 1 名	1 2 6 名

(参加者 前年比 105 %)

- ・ **介護リフレッシュ教室の開催※神戸市より年間最高 36 万円委託料あり。**
介護者を対象にした介護リフレッシュ教室（月の最終水曜日で 3 ケ月に 1 回。
年 4 回開催予定）

介護リフレッシュ教室

	参加者数
5 月：オムツの上手な利用の仕方	7 名
7 月：健康体操でリフレッシュ	9 名
9 月；フラワーアレンジメント	8 名
11 月：クリスマスグッズを作る	10 名
1 月：ハンドマッサージでリフレッシュ	8 名
前年比	177 %

5. 介護予防マネジメント 総合相談支援

介護予防請求料金は 1 件当たり 4,429 円→4,661 円になり、わずかではあるが、約 5%アップした。28 年 3 月末時点、サービス利用者 177 件（受託 111 件、委託 66 件）（前年比 111%）委託割合 38 %。委託事業者（法人含む）契約件数 19 件。

（請求金額表.1）新規件数 70 件。要介護に移行した件数 41 件。中止件数 37 件。

新規も多かったが、要介護、サービス中止になるケースが多く。昨年と比べてもほぼ横ばいであった。また、5 月にプランナー（介護予防従事者）が介護支援専門員の更新手続きを怠り、やむなく、担当ケースの 38 件を委託に出さなくてはならない状況になった。10 月には幸い、更新研修を受け、無事復帰できたが、委託から戻ってきたのは 20 件程だった。現在、併設居宅も人員が揃い、介護予防も担当できるようになったので、今後は新規獲得の為、地域行事へ参加されている方、或いは地域の方々を発掘して介護保険申請をすすめ、新規を増やしていきたい。

表.1 H27 年度 収入 (単位：千円)

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
H26 年度実績	724,690	774,953	748,054	753,255	754,474	760,122	4,515,542
H27 年度予想	724,000	754,000	754,000	754,000	754,000	754,000	4,494,000
H27 年度実績	777,846	766,247	749,446	817,411	805,812	809,064	4,725,826
前年度差異	53,156	-8,706	1,392	64,156	51,338	48,942	210,284
月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
H26 年度実績	775,400	748,054	788,687	734,767	760,894	720,261	8,498,104
H27 年度予想	770,000	770,000	780,000	780,000	780,000	780,000	9,150,000
H27 年度実績	783,482	825,865	813,291	846,352	833,344	838,005	9,670,826
前年度差異	8,082	77,811	24,654	111,585	72,450	117,744	1,172,722

6. 包括的、継続的ケアマネジメント

(相談対応者数表. 2. 3)

表. 2 H26 年度相談対応者数 (単位：件数)

月	総合相談支援	※介護予防ケアマネジメント	権利擁護	包括的継続的ケアマネジメント	地域支援合い活動推進事業	その他	合計	前年	前年比
4 月	177	224	0	72	187	49	709	757	94%
5 月	151	234	1	50	162	46	642	784	82%
6 月	225	201	2	76	216	63	783	685	114%
7 月	202	262	7	66	290	62	889	739	120%
8 月	121	204	13	65	174	60	637	750	85%
9 月	171	216	19	55	200	36	697	746	93%
10 月	262	274	23	54	293	63	969	789	123%
11 月	216	232	12	52	244	27	783	649	121%
12 月	233	191	21	39	235	72	791	670	118%
1 月	208	220	15	48	228	50	769	616	125%
2 月	215	232	20	36	241	50	794	818	97%
3 月	306	196	25	34	313	144	1,019	555	184%
合計	2,488	2,684	158	647	2,783	722	9,482	8,558	111%

表. 3※介護予防ケアマネジメント内訳 (単位：件数)

	電話	来所	訪問	そ の 他	合計	前年	前 年 比
4 月	117	3	92	82	224	306	73%
5 月	103	6	117	6	232	285	81%
6 月	128	2	65	6	201	260	77%
7 月	152	7	83	10	262	287	91%
8 月	117	0	79	8	204	265	77%
9 月	125	4	73	14	216	272	79%
10 月	154	5	90	19	268	280	96%
11 月	114	3	75	40	232	232	100%
12 月	78	6	88	19	191	296	65%
1 月	117	5	74	24	220	273	81%
2 月	127	16	68	21	232	264	88%
3 月	113	6	72	5	196	297	66%
合計	1,445	63	986	190	2,684	3,387	79%
前年	1,413	114	1,474	239	3,230		

以上